

運 転 適 性 診 断 票 (73型)

所 属 中期
氏 名 西原 博徳 様 男
生年月日 昭和31年09月13日 60 歳

検 査 日 平成29年02月15日

73-2

あなたの運転適性結果は、次のとおりです。『総合所見』『性能別所見』をよく読んで安全運転に努めて下さい。

判 定 値						
総 合 判 定 値		2				
運 転 行 動 の 安 定 性	(1) 動作の正確さ	3	①	②	③	④
	(2) 動作の速さ	4	1	2	3	4
	(3) 精神的活動性	3	1	2	3	4
	(4) 衝動抑止性	3	1	2	3	4
精 神 的 安 定 性	(5) 情緒安定性	2	1	2	3	4
	G 自己顕示性	2	1	2	3	4
	N 神経質傾向	1	1	2	3	4
	D 抑うつ性	3	1	2	3	4
	H 感情高揚性	3	1	2	3	4
	A 攻撃性	2	1	2	3	4
	C 協調性	2	1	2	3	4

総合所見

運転適性検査の診断結果によると、あなたは自動車の運転には人一倍の注意が必要です。以下の運転性能に示されている運転上の問題点を良く自覚し、運転中にそれが出てこないよう安全な正しい運転方法を身につけ、事故や違反とならないよう慎重に運転するよう心がけて下さい。

性能別所見

- ◎ 神経質傾向がうかがわれ、ものごとにくよくよし、こだわりのもちやすさがみられます。運転中は、できるだけ前方の、そしてできるだけ広い範囲の交通状況を見るようにし、車間距離は十分にとり、右左折、進路変更では無理をしないように心がけて下さい。
- ◎ やゝ自己主張の強いことがうかがわれます。運転に際しては、自分がいくら法規通りの運転で優先通行権があると思っても、譲るべきときはいさぎよく譲らなくてはなりません。強引な運転はいけません。事故を起こしては損だということを常に頭において運転して下さい。
- ◎ やゝ自分勝手な、ひとりよがりの運転傾向のあることがうかがわれます。道路は自分だけのものではありません。自分が道を譲られたときのことを忘れずに、交通はお互様であることを考え、歩行者や他の車には積極的に道を譲るよう心がけなくてはなりません。

安全運転アドバイス

運転中は前の過ぎ去ったことにこだわりを持ってはいけません。運転中は運転のことだけを考えるのです。家庭のこと、職場のこと、仕事のこと、友人のことなど気になること心配ごとはだれにでもあることです。しかし、運転中はそれを吹きとばして下さい。

考え事は車を降りてからにしないでなりません。そんなことで頭の中がいっぱいだと、運転に必要な情報の見落としをしてしまいます。ですから、日ごろ、心配ごとなどは合理的に処理、解決しておいて下さい。いつまでもくよくよしては損です。折角、持っているあなたの運転能力を100パーセント発揮するには心の整理をしておくことが大切です。

己を知って安全運転を

あなたが事故を起こさないため、自分自身の性能や素質に応じた運転をする必要があります。

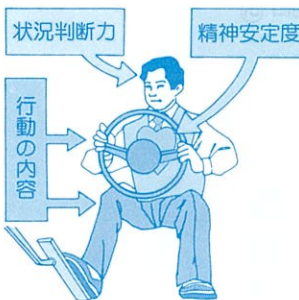
あなたが運転について気を付けなければならない点は、オモテ面に示された折れ線グラフのプロフィールの通りですが、各項目についてもう少し説明いたします。

なお、評価値とは、折れ線グラフ尺度目盛りについている数値です。

運転適性検査の結果からあなたの運転上の安全度を再確認してみましょう。

この検査によってわかるものは

- ★運転行動の安全性に関するもの【総合判定】
- ★運転行動の質に関するもの【行動の内容】(1)(2)(4)
- ★交通状況の判断に関するもの【状況判断力】(3)
- ★運転中の気持ちの動きに関するもの【精神安定度】(5)などです。



不 許 複 製

★ 総合判定	評価値が3. 4. 5の人は、運転に支障がありません。 総合判定で安全タイプの判定を受けた人でも性能を要素ごとに、一つずつみますと、いくつかの問題点のあることが発見されます。安全運転をするには、要注意要素がありましたらそれをよく読み安全運転に役立てて下さい。
	評価値が1. 2の人は、運転要注意です。 事故や違反となるのは、決して運が悪かったり、相手のせいではありません。事故、違反の本当の原因は自分自身の中にひそんでいます。それが、この適性診断票に現われています。あなたが、事故、違反とならないためには、以下の性能要素ごとの注意・指摘をよく読み、自分の真の姿を知り、性能をこえた無理な運転をしないようにし、日常の運転に生かし、安全運転に心がけて下さい。
★ 行動の内容・状況判断力・精神安定度	(1) 動作の正確さの評価値が1. 2の人は動作が大まかで、運転には注意して下さい。 危険をハンドルで逃げる傾向がみられますので、危険を感じたらまずブレーキと心がけて下さい。常に初心のつもりで一時停止すべきところは確実に停止し、徐行すべきところは徐行して下さい。
	(2) 動作の速さの評価値が1. 2の人は動作の速さに欠け、運転には注意して下さい。 常に車間距離を十分に取り、他の車からクラクションを鳴らされても、急にスピードを出さないようにし、また、交通状況を声に出して確認呼称を行なして下さい。
	(2) 動作の速さの評価値が5の人は動作が速すぎ、運転には注意して下さい。 追い越しや割り込み、そして巧みなハンドルさばきでの進路変更をするなど、ややもすると自信過剰な傾向がみられることから、安全な運転は速さより内容と覚えて下さい。 速くてもいいかげんな操作では何ともなりません。
	(3) 精神的活動性の評価値が1. 2の人は認知・判断がとどろりがちです。運転には注意して下さい。 車に乗る前に、地図で道順を調べたり、道路交通情報センターの道路情報を調べておく。また、日頃安全運転についての予備知識を養っておく。走行速度は控え目にし、なるべく先の先を見るようにし、ちょっとでも危険を感じたらブレーキに足を乗せて下さい。 走行中は運転に専念し、考え事や同乗者との会話をしないようにし、カーステレオなどのボリュームは抑え、携帯電話を使つてはいけません。またカーナビ画面を見ることは控えて下さい。
	(4) 衝動抑止性の評価値が1. 2の人は判断と動作のバランスに欠け、運転には注意して下さい。 考えるより動作が先に立つせつから傾向がみられ、信号待ちや渋滞などで待たされるとイライラ運転になりやすい。動作の開始、変更の前には必ず一呼吸、間（ま）をおくようにして下さい。 思いつくままに行動を開始、変更するのは危険です。
	(5) 情緒安定性の評価値が1. 2の人は安全運転に必要な適度な緊張に欠け、運転には注意して下さい。 自動車の運転という危険を含んだ行動をするには、精神的にやや不安定さがうかがわれます。運転には緊張のしすぎは禁物ですが、のんびりしすぎてもいけません。適度な緊張が必要です。ノロノロ運転と安全運転とは別ものです。 運転中は運転のことだけに専念し、どのようにしたらお互いに事故に遭わないかを考え、よけいな考えごと、気になることは車を降りてからにするよう心がけて下さい。

★ 情 緒 安 定 性 の 内 容	G 自己顕示性の評価値が1. 2の人は自分をよく見せようとすることから、運転には注意して下さい。 交通状況に合った操作を省略し、人の注目をあびるような形の良さだけを求める傾向がみられることから、地味な運転を心がけて下さい。また、常日頃運転技術の向上に勉め、運転中はなるべく先の先を見るようにして下さい。
	N 神経質傾向の評価値が1. 2の人は気遣いが多すぎることから、運転には注意して下さい。 運転に必要な情報収集の遅れや見落としをしやすいく傾向がみられることから、心の切り替えを速やかに、物事にこだわりを持たないようにし、目の前の交通状況で必要な情報は声に出して確認して下さい。
	N 神経質傾向の評価値が5の人は細かい心配りに欠けることから、運転には注意して下さい。 細やかな心配りに苦手な傾向がみられ、交通状況への注意や判断が大ざっぱになりやすく、無造作で弱者や他車への心遣いに欠けた自分中心の運転となりやすいので、相手へのこまめな対応、こまめな運転操作を心がけて下さい。
	D 抑うつ性の評価値が1. 2の人は気分の変わりやすいことから、運転には注意して下さい。 気分が重いときは、信号や標識などの見落としが多くなる傾向がみられることから、そういうときは運転はなるべく控えるようにして下さい。もし運転するときは軽い体操をするなどして体をほぐし、気分を引き立てて下さい。
	H 感情高揚性の評価値が1. 2の人は注意散漫になりやすいことから、運転には注意して下さい。 気分のむくまま、調子のおもむくままの元気な運転は、判断より行動が先立ちがちになることから、発進や右左折などは一呼吸おいてからの習慣をつけて下さい。また、同乗者との会話は控えるようにして下さい。
	A 攻撃性の評価値が1. 2の人は自分の行動に自信がありすぎることから、運転には注意して下さい。 自分の思いのままの運転をし、相手の動きを抑えてでも先に進もうとする傾向がみられるので、歩行者、自転車、他の車両などには屈折抜きで積極的に進路を譲り、また、クラクションは控えるようにして下さい。
	C 協調性の評価値が1. 2の人は相手との対応が苦手なことから、運転には注意して下さい。 歩行者や自転車、特にわき道から出ようとしている自動車などに譲りたがらない傾向がみられることから、相手の立場にたった運転を心がけて下さい。交通場面も人と人のつき合いの場面です。お互いにうまくやって行かなければ、ぶつかり合うばかりです。積極的に進路を譲り、また、クラクションは控えるようにして下さい。

運転適性診断

あなたの安全運転についての診断結果は、次の通りです。
所見欄に示されているような運転行動についての傾向がうかがわれます。
よく読んで安全運転に役立てていただきたいと思います。
今後とも、安全運転をお願いします。

成績結果表のなかの文字や数字は、次のような意味を持っています。
なお、評価値3・4・5は、その行動要素に関し問題のないことを示し、
評価値1・2は、要注意であることを示しています。

行動要素名	検査名	反応値	評価値
-------	-----	-----	-----

氏 名	西原 博徳	年 齢	60 歳	検 査 日	2017 年 02 月 15 日
-----	-------	-----	------	-------	------------------

反応動作の速さ	反 射 的 動 作	緊急反応検査	0.28 秒	4	判 断 的 動 作	信号確認検査	0.47 秒	4
		連続緊急反応検査	0.26 秒	3		アクセル反応検査	0.43 秒	4
						アクセル・ブレーキ検査	0.83 秒	2

所 見
あなたは、反応動作の速さは適度で問題はないといえます。しかし、ちょっと気持ちがゆるむときがあるようです。
あなたには、そのつもりで構えているときの反応動作の速さには全く問題はなく、良好といえますが、気持ちにゆるみ
があるに対応が遅れがみられます。運転中は、いつ子供が飛び出し、横から車が出てくるかわかりません。油断なく、
気持ちを引き締め、できるだけ先の交通状況をよく見るようにし、余裕をもった運転をするようにしてください。前車と
の車間距離は、ほかの車よりもお目にとるように心掛けてください。

適度な精神緊張の維持	反応むら	緊急反応検査	0.16 秒	3	反応むら	アクセル反応検査	0.45 秒	3
		連続緊急反応検査	0.65 秒	2		アクセル・ブレーキ検査	1.30 秒	1
		信号確認検査	23.7 秒	3	弛緩反応	連続緊急反応検査	0.40 個 秒	3

所 見
あなたは、全般的には素早い反応傾向をもっているといえますが、そのときの調子で素早く反応したり、遅くなつた
りという傾向がみうけられます。
運転中は、どのようなことが起こるかわかりません。ちょっとした気のゆるみ、見落としは事故につながります。運
転中は、たとえ空いている道路でも気をゆるめることなく、なるべく遠くの交通状況をもたさずよく見るようにし、ど
のようなことにも、たとえ小さなことに対しても、こまめに対応するようにしてください。

動作の確かさ 見 込 反 応	焦躁反応	連続緊急反応検査	1 個 秒	3	誤 反 応	アクセル反応検査	6 個	2
	誤 反 応	信号確認検査	7 個	2		アクセル・ブレーキ検査	2 個	3

所 見
あなたは、多くの場面で落ち着いた対応ができるといえますが、判断の甘さから正確さに欠けるところがみられます。
自動車の交通場面は、予測もつかないほど複雑に、激しく変化しています。落ち着いて、間違いなく対応、処理しなく
てはなりません。従って、たとえ、遅れ目となっても、状況をしっかりと見て、どうしたらよいかをよく考え、間違い
のない対応、処理をするよう心掛けてください。それには、なるべく遠くの交通状況を見るようにし、余裕をもって運
転するようにしなければなりません。

注意の配分/認知 注意の集中分散	誤 反 応	側方 警戒 検査	中心部分	8 個	4	反応速度	側方警戒検査	0.63 秒	3
			周辺部分	1 個	4	バランス	ハンドル操作検査	80	R3
			全 領 域	9 個	4				

所 見
あなたは、あらゆる状況を見落とすことなく、まんべんなく注意が行き届き、注意力に優れているといえます。
運転中は、いつどのようなことが発生するかわかりません。前方だけでなく、いろいろと心を配らなくてはなりませ
ん。あなたは、かたよりなく適度に注意を向けることができ、問題はありません。しかし、気分が重いときとか、体調
をくずしていたりすると、注意がゆきわたらなくなり、見落としがでできます。運転するときは、体調を整え、気持ち
のコントロールを心掛け、適度に心を引き締め、こまかいことも見落とさないよう注意力を高めるようにしてください。

状況処理の巧みさ	節 約 率	ハンドル操作検査	2.0	2	操 作 の 速 さ	ハンドル操作検査	59 個	3
	バランス	ハンドル操作検査	80	R3		Rが付くと右への注意の偏りがあります。		

所 見
あなたは、むずかしい場面でも初めから機敏に、適切に対応し、処理できるといえます。
交通状況は、つぎつぎと激しく変化します。柔軟に、そつなく、機敏に対応しなくてはなりません。あなたは、この
点問題はありませんが、さらに運転感度を高め、無理なく場面処理できる態勢を作っておくようにしてください。それ
には、なるべく遠くの交通状況を見るようにして余裕ある運転となるようにします。そして、少しの見落としもしない
運転からこまかいことにもていねいな操作で対応し、他の車や歩行者のミスもカバーするよい運転を続けてください。

総 合 所 見	総合判定	3	あなたは、行動機能は普通で問題ありません。よい運転ができるといえます。自動車の安全な運転には、認知・判断機能、動作機能のバランスがとれていなければなりません。たとえ遅れ目の動作でも、そのときの状況にあった対応、処置が欠かせません。反応動作の速すぎは、むしろ行動のバランスをくずします。また、無理なく滑らかに安全な運転をするには、常に体調を整えておき、なるべく遠くの交通状況を見て、余裕をもった操作をすることが大切です。
長野県警察本部 (一財)長野県交通安全協会			